

## 「日ユ同祖論」再考—建国記念の日に日本神話を考える—

建国記念の日 2月11日は日本書紀に記載される神武天皇が即位した旧暦1月1日の月日を明治時代にグレゴリオ暦での日付けとして推定したものである。

スコットランド商人 N.マクラウドの著書「日本古代史の縮図」が明治8年に刊行され、仮説とされてきた日ユ同祖論は第二次世界大戦後来日したユダヤ人のラビ M.トケイヤーらにより古代日本とユダヤのつながりが改めて指摘されるようになった。

1916年オデッサに生まれ語学に堪能なヨセフ・アイデルバーグは来日後1972年に京都の護国神社の見習神官になり、日本の神話と古代ユダヤ人の足跡について調べた結果を「大和民族はユダヤ人だった」(たま出版刊)と題する書籍にまとめ、大化改新はヘブライ教典にもとづく行政改革であったとことを指摘している。

「大和」の地名は天山山脈中のイリ川上流にある「ヤマトウ」の地に由来し、神武天皇の称号「カム・ヤマト・イワレ・ビコ・スメラミコト」をヘブライ語で意訳すると「サマリヤ(イスラエル王国の首都)の皇帝、神のヘブライ民族の高尚な創設者」の意味をもつという。渡来人として知られる「秦氏」は、「ユダヤから来た(YUDU+KI)」という意味の「弓月君(ゆづきのきみ)」がその祖である。

従って、天孫降臨の神話と秦氏は旧約聖書の神話とともにやって来たといえる。

秦河勝(聖徳太子のブレン)は仏教寺院京都広隆寺の創立者でもある。秦河勝はキリスト教では異端とされるネストリウス派(中国名「景教」)に類似する宗教思想の持主であったと推定され、真実を尊重する仏教と親和性があったのではないか？

日本とイスラエルの風俗や習慣、祭器、神社や言語に興味深い一致が報告され、日本の古墳に古代ユダヤ人の埴輪が存在することからもディアスポラで離散したユダヤ人が日本にたどり着いた可能性は否定できない。

**論説** **石川 雅晟** 2020年6月4日(幻冬舎ゴールドライフ・オンライン) から引用：

### ユダヤ系秦氏と『旧約聖書』

日向神話の系図と旧約聖書の系図を比べてみると、その類似に驚く。両神話の系図骨格を抜き出し比較した。(別紙1, 2)



『古事記』は、古代ユダヤの『旧約聖書』が下敷きになってできている、これが結論である。異を唱える人が多いと思われるが、では日ユ神話・系図と同様の例題に挑戦してほしい。

例えばアフリカかどこかの民族神話の世代数とそれぞれの世代特有の物語において、その神話を知らない人が自らの想像(創造)でそれを創作してみしてほしい。だれがやっても、類似の神話を作り出すことは不可能である。

従って『古事記』の編纂者のなかに、ユダヤに精通した人物がいたか、あるいはユダヤ人そのものがいたか、またはユダヤに関する知識を伝授するグループ人脈が存在していたか、その他さまざまな類推が可能である。『日本書紀』の編者の一人でもある太安萬侶こそ、その要素を兼ね備えた人物である。(『日本紀竟宴和歌』序)

両系図を比較することによって、山幸彦や海幸彦などでお馴染みの日向神話は、その下敷きとしてユダヤ神話の系図が利用されていることが分かった。この事実は驚くべきことであり、ユダヤ系秦氏の介在を前提にしないと絶対に納得できないことである。日向は秦氏が住んでいた国(移住させられた国)であることは明らかである。

しかし古代においてユダヤと日本には歴史的関連性ありという、どちらかといえば首を傾げる人が多い題材を選んで議論するには、双方の系図が相似形であることや同世代間の物語が類似していることのほかにも、一層の慎重さが必要になる。第一作では、『旧約聖書』の中のアブラハムからヨシュアまでの 15 世代と、『古事記』のアマテラスから崇神までの 15 世代とを比較して、その記述量をベースにして双方の相関を調査している。

「別紙 3 記述分量比較表」がそれである。一目して分かることは、他の世代が同じような相対的記述量になっているのに対し、6 代目のベリアとジムのところが大きく違っている。欠史八代の記載の少なさは『旧約聖書』でも見られる。

別紙 3 記述分量比較表

世代数	人名	『旧約聖書』における記述場所	章数	記述分量比率(%)
①	アブラハム	創世記 12～25	14	21.5%
②	イサク	創世記 25～27	3	4.5%
③	ヤコブ	創世記 27～35	9	13.7%
④	ヨセフ	創世記 37～50	14	21.4%
⑤	エフライム	民数記26 歴代志上7	0.1	0.2%
⑥	ベリア	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑦	レバ	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑧	レセフ	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑨	テラ	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑩	タハン	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑪	ラダン	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑫	アミホデ	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑬	エリシャマ	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑭	ヌン	歴代志上 7	0.1	0.2%
⑮	ヨシュア	ヨシュア記 1～24	24	36.9%
		合計	65	100.0%

『聖書』(日本聖書協会)1961 (注):⑤エフライムからヌンまで、個々の記述量は0に等しいが、便宜的に0.1として計算した

世代数	人名	『古事記』における記述場所	行数	記述分量比率(%)
①	アマテラス	P. 35～42	97	14.5%
②	オシホミミ	P. 62 P. 72	9	1.3%
③	ニニギ	P. 72～79	85	12.7%
④	オホリ	P. 79～86	89	13.3%
⑤	ウガヤフキアエズ	P. 86～88	5	0.7%
⑥	ジム	P. 89～102	190	28.4%
⑦	スイセイ	P. 103～111	4	0.6%
⑧	アンネイ	P. 103～111	10	1.5%
⑨	イトク	P. 103～111	6	0.9%
⑩	コウショウ	P. 103～111	7	1.0%
⑪	コウアン	P. 103～111	5	0.7%
⑫	コウレイ	P. 103～111	17	2.5%
⑬	コウゲン	P. 103～111	20	3.0%
⑭	カイカ	P. 103～111	38	5.7%
⑮	スジン	P. 111～117	88	13.1%
		合計	670	100.0%

『古事記』(岩波文庫)2008

その他の「日ユ同祖論」参考資料:

茂木誠氏のyoutube動画

(22) [【日ユ同祖論】日本人のルーツとヘブライ語の謎 | 茂木誠 - YouTube](#)

URL><https://www.youtube.com/watch?v=Za-JuacbVoo>

田中英道氏のyoutube動画、田中英道氏の論説は「日ユ同化論」である。

(22) [田中英道「秦氏とユダヤ人の埴輪」第 60 回・日本国史学会連続講演・10 月 13 日拓殖大学 \(2018/10/13\) - YouTube](#)

URL><https://www.youtube.com/watch?v=JoiIXU-ILxE>

久保有政氏著「神道のルーツとユダヤ」(kindle版)他 Remnant 読み物サイト

[DNAでわかった 日本人とユダヤ人の親戚関係 \(remnant-p.com\)](#)

日本語とヘブライ語の類似性:

日本語		ヘブライ語		
発音	文字	発音	文字	意味
みかど	帝	ミカドル	מִלְכֵּךְ	高貴なる人
さむらい	侍	シャムライ	שָׂמַרַי	守る者
みこと	尊	マクト	מַלְכוּת	王 王国
あるく	歩く	ハラク	הָלַךְ	歩く
はかる	測る	ハカル	חָקַךְ	測る 調べる
つらい	辛い	ツァラー	צָרָה	悩み 災難
ありがとう	有り難う	アリ・ガト	אֵלַי אֶלְכֶּם	私は幸運
はれ	晴れ	ハレ	הִלָּח	栄光
こまる	困る	コマル	חָסַךְ	困る
すわる	座る	スワル	שָׁבַע	休む
やけど	火傷	ヤケド	דָּבַעַ	火傷
におい	匂い	ニホヒ	נִחוּחַי	匂い
にくむ	憎む	ニクー	נָקַעַ	復讐する

ヘブライ大学前学長 シロニー教授 確認